

教職開発講座 中井 隆司 教授

授業研究を通じた教師の職能成長と
その支援に関する研究

キーワード 教師の職能成長 / 授業研究 / 授業実践力 / 授業省察 / 教師教育

どのような研究をなぜ行っているか

近年、新任教員に求められる資質能力や学び続ける教員を支援する仕組みの構築等、教員の資質能力向上に対するさまざまな答申が続いています。これらの答申を通して、改めて、教員を目指す学生・院生の実践的指導力を育成するための授業内容・方法、「学び続ける教員」や「チーム学校」を実現するための授業省察、アクションリサーチ、授業カンファレンス、メンタリング等を取り入れた現職教員研修会の内容・方法等の検討・開発が求められています。

このような課題意識から以下のような研究を継続的に行っています。

1) 教師の職能成長とその支援に関する研究

新任教員に求められる能力、教師の実践的思考、教師の教授技術、専門職としての教師の成長過程等の検討を通して、熟達した教師を養成・支援するためのカリキュラムや現職教員研修内容・方法、指導的立場の教員に求められるメンタリング能力について研究しています。併せて、現職教員の実践力向上のための支援を行っています。

2) 子どもの学びを保証した実践開発に関する研究

教科としてすべての子どもに授業での学びを保証できるように、意味のある学習可能な内容（学習内容論）、教材（教材論）、指導モデル（学習過程論、指導技術論）の実践的研究・検証を通じて、カリキュラムや実践・指導モデルの開発を現職教員と一緒にしています。

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

これらの研究から得られた成果は、教員養成、新任教員、若手教員、中堅教員、指導的立場の教員等の各成長段階に応じた教師の資質能力及び専門性の支援に活用できるとともに、それらの専門的知識・能力を獲得・向上させるための教員養成カリキュラムや研修内容・方法の開発にも活用できます。そして、実際に大学の授業や現職教員研修等でその方法を活用し、教師の職能成長を支援しています。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 中井隆司・山本敏久(2022) より深い省察の促進を目指す対話型模擬授業検討会の試み。「学校教育実践研究」14:51-56.
- 中井隆司(2020)現職教員へのメンタリングにおける特性の異なる大学教員の省察コメントの特徴. 日本教育大学協会研究年報38:79-90.
- Takashi NAKAI, Masahito YOSHIMURA & Koji MAEDA(2019)The Development & the Improvement of a Program of Professional Development of the Graduate Students. 2019 the World Association of Lesson Studies International Conference, Amsterdam, the Netherlands.
- 日本学術振興会科学研究費委員会委員(2017-2019)
- 枚方市立樟葉南小学校校内研修会指導助言(2017.4.-2018.1.)
- 枚方市立樟葉南小学校学校評議員(2018.4.-2019.3.)
- 枚方市立平野小学校体育モデル授業教師(2016.4.-2017.3.)